



仲間と考えよう!  
**エイズ**  
(ティーンエイジャー編)

監修:公益財団法人エイズ予防財団

エイズって知ってる？

聞いたことはあるわ。  
でもどんな病気？って聞かれ  
たら答えられないわね。

HIVによって  
抵抗力をなく  
してしまう  
病気だよ。

抵抗力？

普段ぼくたちは、ちょっとした  
ケガやカゼくらいは、  
どうってことないって  
思っているだろ？  
でも、エイズになると  
普通では放っておいても  
治るような病気が命取り  
になるんだ。

## エイズ(AIDS)とは

Acquired Immunodeficiency Syndromeの頭文字をとった病名で、日本語では「後天性免疫不全症候群」といいます。エイズはHIV(エイチ・アイ・ブイ)とよばれるウイルスが原因で発病します。HIVは感染後ゆっくりと時間をかけて増殖し、白血球の一種であるリンパ球を破壊して、免疫機能を低下させます。やがて体の抵抗力が極端に落ち、体内に侵入してきたウイルスや細菌、カビ、原虫などの繁殖に対して抵抗できなくなってしまいます。



## HIVに感染すると、無症候期というものがあります。

- 感染直後に、発熱、筋肉や関節の痛み、食欲不振、頭痛、倦怠感などインフルエンザに似た症状が2週間ほど続くことがあります。
  - その後、ほとんど症状のない無症候期があります。
- しかし、たとえ無症状でも他人に感染する力はあるため、自分でも気付かないうちにうつしてしまう可能性があるため注意が必要です。



## おもな日和見感染症

ニューモシスチス肺炎＝ニューモシスチス・イロヴェチという真菌が起こす肺炎の一種で、正常な免疫力があれば、全く心配のない病気です。

カンジダ症＝カビ(真菌)による症状で、食道や舌などの口腔で症状を起こします。

サイトメガロウイルス感染症＝HIV感染者にとって失明の大きな原因となります。



### 3つの感染経路

#### 1. 性的接触による感染

感染原因の80%以上を占めるといわれています。HIVに感染した男性の精液や女性の膣分泌液を感染源として、性器や直腸、口の粘膜を通してパートナーに感染します。セックスの際には必ずコンドームを正しく使しましょう。

#### 2. 血液による感染

麻薬等の回し打ちは、他人の血液が直接体内に入るのでとても危険です。

#### 3. 母子感染

感染している母親から、妊娠中・出産時・授乳などによって子どもに感染することがあります。

### より安全なセックスとはー

感染予防にはコンドームを正しく使うことがとても有効です。



爪を立てないようにして精液だめの空気をぬく

ペニスの皮を根元までたぐりよせ、コンドームを途中まで巻きおろす

かぶせた部分を龟头部分によせ、根元であまっている皮膚がはるように根元までおろす

射精したら、コンドームがはずれないように根元をおさえながらペニスをぬく

口をしぼって捨てる

社会生活で  
感染するってことはないの？



セックスのときの注意が一番だね



でも体液で感染するでしょ？  
銭湯やプール、トイレ、握手、  
感染者の血を吸った蚊に  
さされたりしたら…？



大丈夫だよ、HIVは熱、塩素やアルコール消毒に  
弱いし空気感染の心配もないんだ。  
それに、汗や涙、唾液などには感染するほど含まれて  
いないから、つり革、咳、くしゃみ、抱き合って挨拶の  
キスをしたって大丈夫さ。蚊や虫も媒介しないよ。



一緒に食事をしたり、  
取り分けたりしても  
平気なのね？



そうさ、でももっと強いウイルスもいるから、  
血液には気をつけよう。たとえば血の  
つきそうな歯ブラシ、剃刀、ヘアブラシ  
などは自分専用にした方がいいね。



## 「教育こそが最良のワクチン」です。

いまのところ、からだの中にいるHIVを完全にとりのぞく治療法はありません。世界中で「抗HIV薬」などの治療薬やワクチンの研究が進められています。進行をかなり遅らせても「抗HIV薬」は一生涯飲まなければなりません。だから…

一人ひとりがエイズを正しく理解して予防を実行することが大切です。  
そうすれば…

きちんと予防できます。感染者を怖れたり、避けたりする必要がないことがわかります。

# エイズQ&A

**Q:** 歯医者さんの治療で感染することはありますか？

**A:** 歯の治療をしているとき、出血はよく起こります。

このため、前の患者さんの血からうつらないか、歯科医からうつらないかと心配になるのでしょうか。実際には、器具は十分な消毒してあるので、歯の治療は安心して受けてください。

**Q:** 家族、友達などの感染者と接触しても大丈夫ですか？

**A:** 大丈夫です。HIVは感染力の弱いウイルスで、性的接触以外の日常的接触で感染することはまずありません。傷の手当てだけ気をつけましょう。

**Q:** 出血している人の手当てをしたいのですが、何に気をつけたらいい？

**A:** なるべく傷に直接触れないように処置しましょう。

HIVだけでなく、肝炎ウイルスなどその他の病原体の感染源ともなるので、手当てで血液に触れたときには、すぐに流水と石鹸で洗い流してください。

**Q:** 輸血を受けたことがあります。安全でしょうか？

**A:** わが国では1986年11月から、輸血用の献血血液はすべてHIV抗体検査をしています。現在ではHIVの遺伝子検査もしており、陰性の血液しか使われないので、輸血から感染することはほとんどありません。

## 公益財団法人エイズ予防財団 電話相談室

フリーダイヤル0120-177-812 携帯電話からは 03-5259-1815

月～金(年末年始・祝日を除く) 10:00～13:00、14:00～17:00

